

「幸せの共有」

伊勢原市立山王中学校

あは

二年

藍場

幹斗

みなさんは福祉で何か大切だと考えますか。

お年寄りの方や、身体の不自由な方に手を

差しのべる優しいバ、自分の出来る精一杯で

沢山の笑顔を与えたいと思う気持ち、などそ

れぞれいろいろなことがあげられると思います

す。

そんないろいろな意見の中僕は「誰にでも

笑顔で挨拶をすること」が大切だと考えまし

た。

しかし、挨拶がなんて基本だからも「と他

に大切なことがある、あまリ重要性を感じな

い、などの意見もあると思います。

実は僕も前までそう思っていたのですが、

ある体験で大切なと感じるようになりまし

た。

道を歩いてる時、前から一人のおいひさん

が歩いてきたのですが僕は特に何も考えずに

通り過ぎようとしていました。その時、おい
いさんが僕に向かつて挨拶をして下さり驚き
ながらも急いで挨拶を返しました。するとお
いいさんは嬉しそうに微笑んでくれたのです。
僕は挨拶もせずに通り過ぎようとしていた
自分が恥ずかしくなり、同時に嬉しさも覚え
ました。

その体験から僕はなるべく自分から挨拶す
るようになり、相手からされた場合は笑顔で
挨拶をするように意識し努めています。

挨拶は本当に基本的なことですが無視され
たらどうしよう、と思ったり声を出すのが恥
ずかしいと思われる方もいると思います。確
かに僕も思いますし、実際に僕が挨拶してい
るのは少数の人に対してだけです。誰にで
ても挨拶をすることが大切、という考えを持
ていますか、やはり不安や恥ずかしさなどの
マイナスな気持ちが勝つてしまいます。
ですが、相手から「おはよう、いいってら
しゃい」っ、こんにちは、おかえりなさいと

言われると本当に嬉しくなります。特に嬉しかったのは、小さい子が自分から挨拶をしてくれたことです。僕も笑顔で挨拶を返したら、その小さい子も笑顔になってくれました。このような経験をすると挨拶は本当に素敵だなとばかり感じますし、僕もマイナスな気持ち

を捨てて頑張ろう、と思えます。

挨拶はする方もされる方も幸せになると聞きますが、本当にそうだと思います。挨拶は一言交わすだけでお互い嬉しくなり、僕はこの行いを「幸せの共有」という言葉を当てはめたい、と感じています。

冒頭でもお話ししましたが福祉で大切なことは身体の不自由な方に手を差しのべる優しい心、自分の出来る精一杯で沢山の笑顔を与えたいと思う気持ち、など様々あります。これらは確かに実行可能だとは思いますが、ハードルが少し高いと思いますし相当の勇気が必要となります。人それぞれ感じ方には個人差があります。少なくとも僕はそう思います。

それらに比べて挨拶は少しだけ勇気を出せば出来ることです。勿論急に他人に自分から挨拶してね、という訳ではありません。まずは友達や家族・身内の方との挨拶を大切にしましょう。そして他人の方から挨拶をされたら会釈だけで済ませずにきちんと声を出して挨拶を返すのを忘れないでください。それだけでも簡単に「幸せの共有」をすることができると僕は考えています。

ここまで僕の例を混じりながら「挨拶は大切だ」と主張し続けましたが、僕が一番に伝えたいことは「挨拶をすると双方が嬉しくなり、簡単に幸せの共有ができること」です。難しいことをいきなりするのはなく、まずは挨拶から幸せの輪を広げていきたいのです。

「誰にでも笑顔で挨拶すること」で「幸せの共有」をしていき、少しずつでも良いので「幸せな社会」になっていってほしいなと僕は願っています。